

岩村田高等学校 令和6年10月5日
創立100周年記念式典盛大に開催
 — 歴史をつなぐ・未来への種まき —



佐々木実行委員長開会宣言



長野県教育長挨拶



生徒会長挨拶



吹奏楽班によるBGMでお迎え



進行は生徒

創立100周年記念事業実行委員会通信第4号

岩高同窓会報

岩村田高等学校
 同窓会
 発行人 佐々木 正行
 編集人 中沢 朝幸
 佐久市岩村田1248-1
 岩村田高等学校同窓会館内
 TEL 0267-78-3797
 印刷 恵 企画
 題字は旧中第21回卒 上嶋桂風氏



森山良子コンサート

**生徒が主体の式典
 斬新な企画で演出**



祝賀会



下鳥校長先生 お礼の言葉



吹奏楽班とプロ楽団によるコラボ演奏



全校生徒で森山さんと記念撮影



生徒会企画 600人による人文字

ありがとうございました

同窓会長 佐々木 正 行 (高17回)



同窓生の皆様2024年10月5日、創立100周年記念式典及び記念コンサートでは大変お世話になりました。ありがとうございました。又、

多くの寄付を賜り、予算より少し下回りましたが、計画を修正し無事満足できる100周年記念式典を終了することができました。

2025年3月1日に卒業証書授与式がありました。創立100周年を企画、運営してくれた3年生198名、最終卒業証書番号はNo.2126

ご挨拶



学校長 下島 浩伸

同窓会の皆様には、日頃より、母校の教育活動にご理解とご支援を賜っております。ことに厚くお礼申し上げます。本校に着任して2年が経ち、創立100周年に関わる様々な事業に携わらせていただく中で、同窓生の皆様の母校に

生である柳沢正人先生の絵画をはじめ、多くの芸術作品が寄贈、展示されており窓から差し込む光の度合いや室内灯の有無で色調に変化が感じられます。さらに中央廊下には各種大会やコンクールで優勝、入賞した歴代のトロフィーや楯、賞状が複数のガラスケース内に展示されており、盛んな班活動等の歩みを語りかけてくれます。ケースの一角には野球部が平成7年春季高校野球県大会で準優勝した時の賞状と「G」の頭文字入りの帽子が置かれており、ひさしの裏には「悠々と構えよ 淡々と語れ」と手書きで書かれています。また正面玄関の入口近くに

5号でした。又、第16回目となる「佐藤寅太郎賞」は片桐楓人生徒会長はじめ松本陽真副会長、山田玲奈副会長、佐藤陽翔議長、岩崎沙織副議長の5名です。

この賞は様々な面で顕著な活躍をした生徒に対して卒業時に授与するもので、今年度は100周年記念事業の成功に大きな原動力となり、また学業に対しても地道な努力を続け「信頼に足る人物たれ」

は高さ1メートルを超える木枠の温度計が壁に掛けられており、現在も正確に気温を表示しています。この温度計に2つの単位(°C、°F)が表示されていることに疑問を持った事務室職員の方が木枠の裏を調べたところ「昭和四年四月購入 岩村田高等学校」の墨字に気づき、先の帽子の文字も含め私に教えてくれました。昭和4年は岩村田実科高等女学校を改称し、佐藤寅太郎校長先生が岩村田中学校との校長を兼任していた頃であり、日本における華氏(°F)から摂氏(°C)への単位の移行期でもあります。佐藤校長先生をはじめ多くの同窓生も単位が併記されたこの温度計を見ていたと想像するにつけ、本校が受け継いできた伝統の重さを感じた次第です。

の精神を実践した皆さんです。101年目のスタートに立ち同窓会も新しい組織にしていかなければなりません。私も4期8年間同窓会長を務めてまいりました。その中3年間はコロナで活動も止まり、結果として今回の創立100周年記念事業が長期になってしまいました。今までの皆様方の御支援御協力に深く感謝申し上げます。大変ありがとうございました。

佐藤校長先生が本校の前身である岩村田中学校の開校に尽力され、小学校の一室を仮校舎としてのスタートに際し「教育は、先生と生徒があれどできるものである」との信条で奔走されたエピソードが岩高60年誌に掲載されています。時を経て、教育の原点は変わらぬも、近年の学校教育では学びの多様性や特色ある学校づくり、探究的な取り組みなどが求められております。その中、地域や社会との繋がりを意識し、本校建学の精神である「社会に信頼に足る人物たれ」の流れを受け継ぎ、世の中の変化に柔軟に対応できる力を育むことを意識して教育活動を行ってまいりますので、今後とも同窓会の皆様には、本校生徒の活動にご注目いただき、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

創立100周年記念式典・コンサートを終えて

前生徒会長 片桐 楓人 (高77回)



創立100周年式典を終えて肩の荷が下りた気がするのと同時に、生徒会活動の終わりに感じるようになりました。生徒会長になって間もない頃、創立100周年記念式典について同窓会の方々と初めてお話をしました。森山良子さんが来てくださること以外ほとんど決まっていなかったから乗り気であつたわけではないですが、五役のみんなでも何かの縁なのだろう」と思い、式典に向けて計画を始めていきました。

岩高祭の時期は岩高祭の準備と100周年記念パンや展示物の準備などがあり、特に忙しかったことを覚えております。今ではみんな準備した時間もない思い出です。岩高祭が終わると受験勉強も本格的になり、式典準備と勉強の両立が始まりました。誰もが初めての式典運営で常に不安を抱えながら準備をし

式典が終わり、生徒会の引き継ぎを終え、一息つく暇もなく受験勉強の日々が始まりました。そこから卒業式まで勉強ばかりでつらい日が続きました。それでも、くじけそうになった時は『今までも乗り越えてきたから、自分なら大丈夫!』と自分を奮い立たせて頑張りました。支えてくださった方々に感謝すると同時に、この年に在校生として関わったことをとても誇りに思います。在校生の皆さんはこれから班活動や生徒会、受験勉強など辛いことがたくさんあると思います。でも、それを乗り越えようと案外その時の辛さがいよいよ思い出さることもありますが、高校生活を全力で楽しんでください!

●総務委員会

創立100周年記念事業はクライマックスへ

総務委員長 池田 義則(高29回)

複数年に及んだ創立100周年記念事業は、令和5年にコンサートI、講演会I、総合美術展を実施し、令和6年には大講義室完成、式典兼コンサートII実施場面を迎えクライマックスに達しました。

式典兼コンサートIIの詳細につきましては、式典・祝賀会委員会、コンサート・総合美術展委員会に譲ることといたしまして、ここでは最高額事業となりました大講義室完成までを中心に現在の状況も紹介させていただきます。

Q1 施設の充実は長野県教育委員会が行うべきでは？

そのとおりです。しかし、実際には解体に1000万円も要するなど工費が高額で予算を付けられないまま凡そ45年の年月が経過してしまいました。今回リニューアルした大講義室(旧視聴覚室)は、昭和50年代に県内高校へ設置されたLL教室(視聴覚機器が備え付けられた語学学習教室)でした。時代の最先端技術を結集したLL教室が機器の進歩に取り残され、多くの学校で使用頻度が低く、容易に改装できない教室として悩みの種になってしまいました。

Q2 どのような経緯で事業化されたのですか？

当初、事務局では視聴覚教室整備事業ではなく、探究的学びを中心として活用できる教育基金を想定していました。令和4年6月に施設委員会が学校(全体、係、クラブ)、PTA、同窓会を対象として希望調査アンケートを実施しました。ここで初めて視聴覚教室整備事業が第1希望として登場しました。学校の苦悩が



改修前の視聴覚室

反映された回答となりました。

アンケート集約後、施設委員会で視聴覚教室整備事業を第1位とする優先順位案を作成し、三役会へ提案して了承されました。

Q3 事業費はいくらでしたか？

アンケートに貼付された見積書では総額3052万5000円(税込)でした。この段階ではまだ募金活動が始まっておりませんでしたので、予算内で実現可能か判断できませんでした。しかし、翌令和5年4月から始まりました募金活動はコロナ禍、振り込め詐欺、物価上昇等による逆風の影響を強く受け、入金状況は芳しくありませんでした。さらに、資材の高騰が本事業にも影響する状況になってきました。事務局では予算委員会と連携して、予算の見直しを行いました。

その結果、クラブ活動支援事業の凍結、視聴覚教室整備事業費の削減が打ち出されました。令和5年8月から発注先の(株)竹花組様と協議を重ね、隣接する印刷室との一体化及び階段教室のフラット化削除、机・椅子等備品のグレード再考等により、10月に2673万円、12月に2450万8000円、そして、最終的に令和6年1月に2310万円となり、3月の正式契約に至りました。

Q4 部屋の仕様はどうなっていますか？

これまで使用を阻害していた要因を解消するため、天井をフラットにして冷暖房を完備しました。そして、固定机を撤去して、カーペットを張り替え、移動可能な長机、椅子を設置し、照明もLEDにするなど用途に応じて柔軟に変更が可能で、明るい部屋にしました。さらに、音響設備、プロジェクター、スクリーン、暗幕、黒板等基本設備を一新して情報化時代に適した施設と



改修後の視聴覚教室

して、授業のみならず、講演会、集会等にも活用できる施設にリニューアルしました。令和6年9月の引き渡し後多くの先生方に活用されています。事業は最終盤へ向かいます

昨年大規模事業が終了し、予算の見通しがはつきりしてきました。凍結されていたクラブ支援事業の中で最上位になっていましたマイクロバス購入が実現できることになりました。今後は6月に発刊されます記念誌の発送、配本を経て、実行委員会総会を開催して事業報告、決算報告、解散宣言を行い、8月末を目途に事務局引継ができますよう準備を進めているところです。

令和元年のワーキンググループ設置から7年間、実行委員の皆様、同窓生の皆様をはじめ大勢の皆様からご協力を賜りましたことに心より感謝申し上げます。残り少なくなっております。最後までお力添えをよろしくお願い申し上げます。

視聴覚教室入口の銘板



長野県岩村田高等学校創立100周年記念

令和6年(2024年)岩村田高等学校は創立100周年を迎え、記念事業の一環として視聴覚室(当教室)の大規模改修を実施する。改修にあたっては、大型スクリーン・プロジェクターの設置や移動式の机・椅子の配置など、授業や講演会などで利用しやすいように配慮した。冷暖房については6台のエアコンを設置し、快適な環境を実現した。教室の名称もそれまでの視聴覚室から「大講義室」に改めた。この大講義室で多くの生徒が夢を求めて学びを深め、初代校長佐藤寅太郎先生から引き継がれる精神…「信頼に足る人物たれ」…を社会において実践して欲しいと願うものである。令和6年(2024年)10月吉日 岩村田高等学校創立100周年記念実行委員会

●記念式典・祝賀会委員会

『岩高独自の心に刻まれる記念式典』

記念式典・祝賀会委員長 高見澤正彦

コロナ禍にあつて様々な活動制限があり、開催に漕ぎ着ける見通しの無い中での出発。諸会議を経て、記念式典は当委員会とコンサート委員会の合同で企画案を練ることとし、以降は合同委員会を中心に協議を重ねた。

式典の在り方については「既成の型にとられず、柔軟で斬新な構成とし、参加者の心に深く刻まれる催しを創り上げる」を目標に、森山良子さんのトークとコンサートの中に生徒とのコラボレーションを組み込む企画案とした。令和5年12月からは、新生徒会役員・式典祝賀委・コンサート委の三者で企画検討会議を重ねて具体案を詰めた。

『記念式典兼コンサートII』の当日は、生徒とゲストで創り出す極めて稀な演出で、明朗・丁寧・正確を合言葉に、駐車場係や受付案内係を生徒も一緒に分担し、司会進行も生徒が担当した。開式前には、袖ステージで吹奏楽班の素晴らしい演奏が披露された。

実行委員長による「開会宣言」、「全体での校歌斉唱」と進み、「挨拶」は、長野県教育長と生徒会長のみで、祝辞を含めない式次第。早々にゲストの森山良子さんがステージに現れ、生徒会制作の「岩高の歴史と森山さんの過程を重ねたスライド」を披露。続く「トークコーナー」は、生徒から森山さんへの奇抜な質問と岩高OB職員へのインタビュー。そして、雄大な浅間の絵を寄贈してくださったOBの柳沢正人画伯が絵に込めた岩高生への思いを熱く語ってくれた。

この後に続く森山さんのコンサートプログラムの中に、演劇班による見事な朗読、吹奏楽班とプロ楽団による「聖者の行進」のコラボ演奏、さらに、全校生と森山さんが一緒に「虹」の合唱で盛り上がるコラボなど「生徒が主体の式典」が大感動のうちに幕を閉じた。

記念祝賀会での祝辞には、「生徒が主体となったこのよう

な素晴らしい記念式典は初めて」「このような斬新な演出はこれからの式典のモデルになる」など感嘆の言葉が続いた。後日、生徒からも「主体的に参加でき、思い出に残る式典・コンサートで実に楽しかった」という感想を多く耳にした。この日までの三年間、多くの時間を費やし、叡智をもって献身的に携わってくださった皆様に心から感謝を申し上げ、併せて母校の今後益々の発展を祈るものである。



受付会場準備中



正面玄関入口は生徒が案内係

●コンサート・総合美術展委員会

創立100周年記念式典を終えて

コンサート・総合美術展委員長 鈴木 順子

昨年の10月5日(土)、岩村田高校創立100周年記念式典兼コンサートIIが長野県立武道館において多くの皆様をお迎えして華々しく開催されました。

数年前、コロナ禍により当初の計画を見直し、記念式典に講演会、コンサートIIを組み込む内容で、演者を森山良子さんに決定しました。式典は生徒主体の思い出に残るものにする事で総務、記念式典、記念講演会、コンサートの各担当が生徒会も交えて計画を進めました。

私どもコンサート委員会はコンサート関係として、森山さんサイドと生徒会との連携を主な仕事として内容を詰めてまいりました。森山さん事務所もこのようなコンサートは初めてとの事で、事前準備にスタッフの方々は何回となくここ佐久まで足を運んでくださり、また、森山さんご自身も会場下

見、生徒会、吹奏楽班、演劇班との打ち合わせに学校までお越しになり、生徒たちほとても感激し、さらにいいものを作ろうとその熱量は高くなりました。

前日多くの生徒が準備を手伝い、吹奏楽班、演劇班のリハーサルでは、森山さんも一緒に生徒たちへ多く声をかけてくださり、みな気分は最高潮！そして当日はもう皆さんのご存じの通り、生徒が進行を務め、実行委員長の開式宣言で始まり、森山さんのトークコーナーで岩高の100年を振り返り、そして鳥肌立つほどの素晴らしい歌声の森山さんのコンサート。途中吹奏楽班、演劇班とのコラボ演奏もありそれは多くの生徒はじめ全ての皆さんの心に残っているのではないのでしょうか。100年の歴史の重みを改めて感じ、そして次の100年に向けて岩高生と共に皆で明るい未来を描いたことと思います。

私共の委員会は、コンサートI、総合美術展、そしてこの式典中のコンサートIIに携わってまいり、貴重な多くの経験させていただきました。改めて、ここに皆様方のご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。



生徒企画のスライド上映



演劇班が和訳した「明日に架ける橋」の朗読



学校で森山良子さんと打ち合わせ

●記念誌刊行委員会

『長野県岩村田高等学校百年誌 大浅岳』のご案内

記念誌刊行委員長 上原 美次

記念事業の一環として、記念誌刊行委員会が、三年半にわたり、鋭意編纂を進めてまいりました岩村田高校百周年記念誌『大浅岳』が刊行の運びとなりました。(配本は6月下旬) 本誌は、百年の節目の記念事業を形に残すため、創立以来の通史として編纂いたしました。通史を記す周年誌としては、昭和六十年(1985)発行の『岩高六十年誌』以来唯一のものであります。写真を多用し、「見る記念誌」とすることにも努めました。また、大勢の先生方や同窓会員、生徒に執筆・寄稿・資料提供などをお願いし、年代ごと下記の「百人」の回想をいただくなど、参加型での編纂を心がけました。時に応じてお気軽にご高覧いただき、青春時代を振り返るとともに、発展する母校、先輩後輩の近況などに目を向けていただければ幸いです。

●記念誌の価格・体裁と購入申込の方法

記念誌を販売いたします。購入を希望される方は、左記の通りご注文いただきますようお願いいたします。

【販売価格】 四千円(送料別)

【体裁】 B5判 上製本 624P

【注文方法】 「記念誌購入希望」と表記し、氏名・住所・電話番号を次の方法でお知らせ願います。

1 はがき 2 Eメール

【申込先】 〒385-0022

佐久市岩村田1284の1

岩村田高校同窓会事務局(岩村田高校内)

【Eメール】 s-gansou100@ce.wakwak.com

【電話】 0267-78-3797

(水・金曜日午前のみ対応可です)(8月迄)

●記念誌の内容(一部を略記で掲載)

【口絵カラー】 各時代16P

【序・通史】

全国で唯一、

町立の高女と中学を有する岩村田町

岩村田実科高女

岩村田高女

岩村田城戸丘高

町立岩村田中学

岩中の県立移管

戦時の学校教育

終戦 学校制度改革

岩中から岩高へ

城戸丘高との統合

機械科電気科の設置

普通科廃止の動き

校舎全面改築

昭和と平成の岩高

制服自由化

学力向上の

取り組み

十二通学区制から四通学区制へ

高まる岩高人氣

時代と共に変わる工業科

学校週五日制

日の丸・君が代を

巡って

修学旅行目的地の変遷

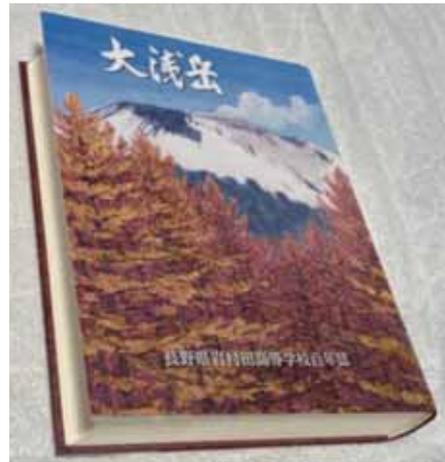
工業科の閉科と佐久平総合

技術高等学校への分離統合

三校の交流事業

工業科の閉科

完成イメージ



新校の開校 普通高校となった岩高 令和の時代の岩高 コロナ禍の中の学校運営 タブレット端末整備 岩高型探究の時間 地元志向の高まり 岩高生の学習・生活の状況を探る アンケート調査の結果 岩高の今と未来を語る座談会 100周年記念事業 各時代の班活動 卒業生の進路等

【PTA】 20年間の活動

【資料】 校長・職員・同窓会長・PTA会長・生徒会長等名簿

班活等の活躍 耐久走強歩大会記録 佐藤寅太郎賞受賞者

学級数・生徒数変化 岩高の歌 年表 戦後航空写真等

【通史コラム】キドガオカの表記 県立中学誘致合戦 生徒の

気風 岩高祭の変容 野球班県大会決勝進出 進路指導主事の

仕事 校了直前の話題掲載 S40年代の高校生活 等

●回想「岩高百年の百人」(掲載者名 敬称略)

- 神津 武士(S19) 佐藤壽美江(S20) 大池 糸子(S20)
曾根 慎嗣(S24) 小山米治郎(S26) 清野 時子(S27)
小林 良子(S27) 岩下 文彦(S27) 清水 光明(S27)
荻原 淑子(S27) 古越 典雄(S31) 上原 貴夫(S42)
秋山 元治(S42) 柳沢 潔(S42) 依田 健一(S43)
西本己江子(S43) 倉澤 隆(S44) 相原 久男(S44)
萩原すみ子(S44) 磯貝 千枝(S44) 水間そよ子(S44)
中嶋 豊(S46) 中沢 朝幸(S47) 寺島 義幸(S47)
山浦 友二(S48) 田中 省三(S48) 大須賀千尋(S49)
吉田 清(S49) 柳沢 正人(S49) 茂木 祐司(S50)
曾根 敏雄(S51) 中山 千弘(S51) 茅野 繁巳(S51)
井出 利秋(S52) 白田 幸夫(S52) 清水 貞浩(S54)
奥山 圭一(S56) 山田 博之(S57) 岡部 豊一(S57)
武者 啓(S57) 碓氷すみ江(S57) 大森 健(S57)
中島 洋治(S57) 黒沢 大陸(S57) 東城 洋(S59)
秋山 賢一(S60) 佐藤美由紀(S60) 矢野健太郎(S62)
渡辺かおり(H1) 吉川 友子(S61) 鬼熊 芳江(H3)
前島 正彦(H4) 清水 秀臣(H4) 松本菜穂子(H2)
永岡真由美(H6) 白田 昇市(H6) 白田 千夏(H6)
小山 仁志(H6) 小山ゆう子(H8) 渡邊 武志(H9)
花岡 賢一(H10) 井出 匡(H12) 金沢 忍(H13)
両角 友佑(H15) 両角 公佑(H19) 井出 司(H17)
加藤 芳実(H18) 菊池 諒(H19) 内山 亘(H20)
吉川 萌(H22) 松本 文怜(H25) 鷹野 みく(H25)
福家万莉菜(H26) 田口 央基(H26) 上野 美優(H31)
上野 結生(R3) 高野 凜音(R4)
(教師群像 順不同) 大草英雄、佐々木次郎、成沢好
小野貞雄 柳田幸雄 竹岡正紹 依田謙一 土屋稔
佐藤新太 佐藤恒彦 佐藤武 細田完治 金子京子
柳沢基一 山口通之 樋口光雄 高見澤正彦
(班) 野球班 柔道班 陸上 班 バスケット班 生物班
社会班

●募金委員会

募金委員会のまとめ

委員長 井上 隆 (高29回)

約3年にわたり創立100周年記念事の募金活動を進めてまいりました。

本校は一世紀にわたり、次世代を見据えた教育を目指し、未来への希望を紡ぐ重要な使命を担ってきました。本記念事業は生徒達自身が主体的に取り組む「心に残る事業」を実現することを目的として推進されました。本校の理念である「社会に信頼されるに足る人物たれ」というこの精神を支える資金を募るべく、関係者一同が全力を尽くしました。

活動経過と課題

募金活動においては、多くの方が関わる体制が重要ですが、同窓生の情報が不足しており、選出に困難を伴いました。選任された役員と30回以上の協議と活動を行いました。

募金の目標額については、堅実に同窓生10%の寄付を目指しつつ、大口寄付と企業からの支援を含めたハイブリッド募金計画を立案しました。この方法によって目標達成の見通しが立ちましたが、実際には多くの課題に直面しました。大口寄付については事前に準備を進めたことで目標を早期に達成しました。しかし、地区ごとのローラー作戦やオンライン・コンビニ経由の振込など新しい工夫を重ねても、同窓生からの反応は鈍く、目標達成には苦戦が続きました。テレビCMや学年ごとの同級会開催など様々な手法を試みましたが、容易には進みませんでした。

課題の克服と総括

募金活動は、コロナ禍による行動制限や物価高騰の影響を受け、同窓生や地域社会における募金意識の低下にも直面しました。

しかし各役員の献身的な取り組みによって困難を乗り越えることができました。

また、事業を実施された各委員会は限られた予算の中で工夫を凝らし、多くの人々の心に響くイベントを実現してくだ

さいました。式典を含む記念行事は感動的で素晴らしいものとなり、関係者全員の尽力が実を結んだ瞬間でもありました。

この成功は、募金活動を支えてくださったすべての方々、そして記念事業にご尽力くださったすべての関係者のおかげです。

この場を借りて、心より感謝申し上げます。

創立100周年記念招待試合開催報告

野球班100周年招待試合記念事業実行委員長

中條 泰勝 (高46回)

2021年母校へ赴任し、お世話になった母校や後輩達のために100周年記念に何かできることはないかと考えていました。翌年、当時の野球班仲間であった北山浩一さんが2022年に保護者として関わり、2024年度には保護者会長になってくれ、本会の事業とは別に野球班独自で100周年に花を添える招待試合を企画、準備を進めてきました。全国に甲子園常連校が多数ある中で柳澤仁監督が前任校から交流があり、2021年夏、2022年春・夏と、甲子園に3期連続出場を果たした二松学舎大学付属高校に依頼し、快く引き受けてもらいました。

地元在住の野球班同期4人で実行委員会を立ち上げて、夏の本大会の地区大会と重ならない2024年6月2日(日)に設定。一年以上前から佐久スタジアムを手配し、OB会に事業の賛同を得て開催資金等の協力をお願いしました。また、2023年お盆、2024年新年には他の同期生を集め当日のお手伝いをお願いし、万全な体制づくりに努めました。

対戦校は前日、健大高崎高校との練習試合後、佐久へ入り、ブランカンでのレセプションで両校の親睦を深め、宿舍のプラザ21でゆっくりと疲れを癒していただきました。

当日は雨の予報で「何とか一試合だけでも……」という思いでした。ポスターでの宣伝効果もあり、スタンドは大勢の観客で埋まりました。記念写真撮影後、小山仁志県議(高46回)の司会のもとセレモニーを済ませ、小林孝道東信高野連

審判部長のご尽力により4人の審判団が揃い、池田義則創立100周年実行委員会総務委員長の始球式でスタート。吹奏楽班の応援も加わり球場は盛り上がりを見せました。

初回から先発赤須が掴まり大量失点。中軸の低い打球が加速して外野手の頭を越える度に観客席からはどよめきが起こりました。2回に5番小池のタイムリーヒットで唯一1点取れたのが救いでしたが4回終了時に1対9、降雨コールドゲーム。

2023年秋の遠征で二松学舎大学付属高校に行き、招待試合のお願いと練習試合をし、一試合目3対14、2試合目1対15の結果でしたので「如何にこの差を縮めるか」を課題に冬を過ごしてきたのですが、岩高の良さが出ず、一方的な展開で終わり改めて勝負の難しさを感じました。

夏本番を一月後に控え、投手陣の整備が急務で、またチャンスでの一本という課題が明確になりました。第106回全国高等学校野球選手権長野大会は県下73チームの参加で行われ、岩高は2回戦で飯山と対戦し7対12で敗退。一方、二松学舎大学付属高校は参加127校の東京大会準決勝で甲子園準優勝した関東第一高校に1対6で涙を吞みましたが、秋季東京大会を21年ぶりに制し、今年の選抜出場を果たしたのは流石でした。

私学優勢の昨今、県立高校から甲子園を合言葉に後輩達は今日も白球を追いかけています。ドジャーズ大谷選手のMVPの活躍も奮起する材料でもあります。

野球というスポーツの持つ魅力の後世に伝え、野球で得たご縁を基に、球児達の今後の人生が豊かになって行くことを願ってやみません。



岩村田高等学校創立100周年記念事業 令和6年度決算書(中間報告)

収入総額 59,750,348円

自 令和6年4月1日

支出総額 40,376,307円

至 令和7年3月31日

差引残額 19,374,041円

(単位:円)

【収入】				
項目	当初予算額	決算額	増減	備考
1. 受付	75,000,000	47,605,104	- 27,394,896	一般寄付(個人・企業・東都岩高会・OB会)
2. 積立金(前年度繰越金)	4,981,341	4,981,341	0	同窓会積立金
3. 補助金	0	6,350,000	6,350,000	佐久市300万、小諸市200万、南佐久郡町村会100万、 軽井沢町20万、御代田町10万、立科町5万
4. 記念誌購入金	150,000	0	- 150,000	
5. 祝賀会会費	750,000	802,000	52,000	現金徴収
6. 広告費	1,000,000	0	- 1,000,000	
7. 雑収入	0	11,903	11,903	利息
8. 寄付金(前年度繰越金)	0	0	0	
収入合計	81,881,341	59,750,348	- 22,130,993	

【支出】				
項目	当初予算額	決算額	増減	備考
1. 事務費	9,050,000	5,474,214	- 3,575,786	
ア 会議費	1,500,000	68,185	- 1,431,815	お茶代
イ 案内状発送	200,000	212,791	12,791	式典祝賀会案内状郵送料等
ウ 礼状発送	500,000	100,212	- 399,788	お礼状郵送料
エ 会報(特集号)	1,200,000	0	- 1,200,000	
オ 消耗品	550,000	105,255	- 444,745	印刷用紙、事務用品等
カ 事務費	1,000,000	876,559	- 123,441	切手、封筒、はがき、郵送費等
キ 人件費	1,600,000	1,490,336	- 109,664	事務局員給与(R6.3月~R7.2月 12ヵ月分)
ク 同窓会館整備維持管理費	2,500,000	2,620,876	120,876	光熱費、同窓会館事務室整備維持管理費等
2. 記念事業費	53,700,000	25,782,630	- 27,917,370	
ア クラブ活動支援	10,000,000	0	- 10,000,000	
イ 学習環境整備	30,000,000	22,933,579	- 7,066,421	視聴覚教室整備工事費
ウ 創立100周年記念誌作成	10,000,000	56,762	- 9,943,238	信濃毎日新聞記事使用料等
エ 記念コンサート・総合美術展	3,000,000	2,589,720	- 410,280	森山良子氏コンサートII開催費(式典祝賀会委員会と共催)等
オ 記念酒販売	500,000	160,219	- 339,781	記念酒ラベルシール作成料
カ 人文字撮影	200,000	42,350	- 157,650	ドローン空撮料
3. 募金費	4,100,000	3,839,989	- 260,011	
ア 趣意書・振込用紙作成	1,100,000	508,295	- 591,705	振込用紙作成料
イ 趣意書郵送料	2,000,000	2,832,366	832,366	振込用紙郵送料等
ウ 振替手数料	400,000	7,000	- 393,000	(株)サラト募金データ投下料
エ 領収書	100,000	41,346	- 58,654	寄付領収書郵送料
オ 高額寄付表彰	100,000	391,953	291,953	絵画記念品作成料、感謝状作成料、包装紙代等
カ 支部活動費	400,000	59,029	- 340,971	
4. 記念式典・祝賀会費	8,600,000	3,846,824	- 4,753,176	
ア 記念品	4,600,000	434,548	- 4,165,452	記念品、袋作成料
イ パンフレット	250,000	203,500	- 46,500	印刷代
ウ 会場準備費	400,000	232,719	- 167,281	誘導棒、封筒、段ボール代等
エ 講演会費	2,500,000	1,931,040	- 568,960	森山良子氏コンサートII開催費(コンサート・美術展委員会と共同開催)等
オ 祝賀会費	850,000	1,045,017	195,017	祝賀会費、お菓子、名札代
5. 予備費	6,431,341	1,432,650	- 4,998,691	
ア 新聞広告	2,700,000	1,432,650	- 1,267,350	信濃毎日新聞広告料・新聞代、佐久市民新聞代
イ 予備費	3,731,341	0	- 3,731,341	
支出合計	81,881,341	40,376,307	- 41,505,034	

● 会計委員会
 委員長 土屋 充俊

会計監査報告 令和7年4月9日、会計監査を実施した結果、

証拠書類、預金通帳等、的確に処理されていることを確認いたしました。

監事 遠山 泉一 ㊟

監事 内藤 勝利 ㊟

●創立100周年記念●
柳沢正人画伯
 (高26回)
絵画寄贈式開催
 (令和6年4月25日・岩高体育館)



★生徒の感想

絵画「浅間雪景」を見て感じた事

●空のグラデーションや山の麓の雪が透けている感じなどが表現されていて、美しいと感じました。特に千曲川に空の青色が反射して、より一層青く澄んで見えるのも見ていて楽しく感じました。更に暖色と寒色のコントラストが景色をより一層映えさせているのかなと感じました。

●絵が出てきた時、鳥肌が立ちました。いつも見ている浅間山だけ美しく雄大に描かれていて、限られたキャンパスの上だけでここまで表現できるかと感動しました。

柳沢画伯のお話(動画)を聞いて

●専門的なお話をされていて少し難しかったけど、自分の軸を持って長年ぶれずにされて来た事が本当にすごいなと感じました。展示会でも1回目の反省を生かしてどのようになれば観覧者の目に留まるか…など工夫されて流石だと思います。

●高校の頃から夢を持ちそして叶え世界で活躍している方の話をお聞きし、夢をあきらめない気持ちや強く願い自信を持って叶う事を知り、自分も自分の将来の夢に自信を持って向かっていけるようにしたいです。

同窓会ニュース

「慶事・表彰」覧
 岩高同窓生

ご慶事誠にめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。(事務局にお知らせのあった方)

旭日双光章受章 (令和6年11月)

相原久男氏 (高21回)

旭日小綬章受章 (令和6年11月)

寺島義幸氏 (高24回)

佐久穂町議会議員

当選 (令和7年4月)
 高見沢敏幸氏 (高28回)

北相木村長 当選

(令和7年4月)
 井出利秋氏 (高29回)

佐久市教育長就任 (令和7年5月)

神津長生氏 (高29回)

佐久市議会議員

当選 (令和7年4月)
 秋山賢一氏 (高37回)

佐久市議会議員

当選 (令和7年4月)
 小林貴幸氏 (高44回)

佐久穂町議会議員

当選 (令和7年4月)
 小池学氏 (高52回)

佐久市議会議員

当選 (令和7年4月)
 三石知志氏 (高56回)

第55回 同窓生作品展出品要項

6月27日(金)までに岩村田高校同窓会事務局へ FAXでお送りください。(FAX番号: 0267-78-3798)

第55回 同窓生作品展記載事項

- 1、氏名・卒業年と卒業回
 (例) 岩高 太郎 (昭和48年卒、高25回)
- 2、住所・電話番号
- 3、作品種類(絵画・書道・写真・工芸・彫刻他)
- 4、作品名
- 5、サイズ 縦 cm、横 cm

- ◎額装には必ず吊り用金具と紐を付けてください。
- ◎裏面に題名・卒業年・住所・氏名を記入した用紙を貼付してください。

<今後の日程>

- 1、作品搬入日時と場所: 7月4日(金)
 12:00~13:30 岩村田高校本館2階
- 2、作品搬出・片付け: 7月6日(日)15:30より

定期総会のご案内

令和7年度の本会定期総会を下記のとおり開催します。多くの同窓生のご参加お待ちしております。

- 日時: 6月14日(土)
- 場所: 岩高会館(同窓会館)
- セレモニー: 15:00~
- 総会: 15:30~
- 講演会: 16:30~
 講師: 若林 憲彦氏(高39回)
 (長野県観光スポーツ部山岳高原観光課長)
 演題: 「長野県観光の現状と今後の展開」
- 懇親会(佐久ホテル): 18:00~
 (バス送迎あり) 会費: 6,500円
- 総会の詳細は後日HPに掲載します。

第55回岩高同窓生作品展ご案内

同窓生作品展はOBの皆さんと在校生との交流の場です。この機会に今の母校の様子をご覧ください。また事業部員の皆さんは事業部担当の定例企画ですので、準備・展示中、片付けのご参加をお願いします。

- 開催期間: 7月5日(土)13:00~15:30
 6日(日)10:00~15:30
- 会場: 岩村田高校本館2F
- 募集作品: 絵画・書道・写真・工芸・彫刻など、全ての分野の創作作品
- 応募締切: 6月27日(金)
- 搬入日: 7月4日(金)
 直接会場へ搬入・展示作業。遠隔地から送られる場合は同窓会事務局宛で学校へお送りください。



東都岩高会総会 & 懇親会

- 令和7年6月22日(日)
 11:00 受付開始
 11:30 開会
- 場所: 銀座ライオン
 7丁目店6Fクラシックホール
 (銀座シックス隣)
 中央区銀座7-9-20 ☎03-3571-2590
- 会費: 8000円 学生(専門学校、予備校含む)は無料。事前にお申込み下さい。(~6/10迄)
 会費は当日受付でお支払い下さい。
- 講演: 柳沢正人様(昭和49年卒業)
- 総会: 2024年・2025年の報告・承認・審議
- 懇親会: 美味しいビール(未成年はノンアル)と料理を愉しみながら、懐かしい顔や新たな出会い!先輩・後輩・先生等が入り交じり交歓の輪で盛り上がり

お問合せ等
 tanaka-nsym@s5.dion.ne.jp
 小林 080-7021-3097
 田中 090-7171-8441

卒業生シリーズ 24

あのころ



小林一二三 (高21回)

今から60年前、田舎の貧乏農家の跡取り娘にとって、高校進学は最初の関門だった。貧しい親達は「百姓の跡取りに普通高校の教育など不要。ましてお前は女。婿取りに不利だ。」というのだ。奨学金を取得して、それを決め手に我を通した。自転車通えて、進学が可能な高校、それが岩高だった。親世代の多くの女達のように結婚相手に頼るのでなく、職を持ち経済的に自立したいと考えていた私の出発の門だった。



クラスメートと女子会

入学後の記憶は、班活動への勧誘と、応援練習から始まる。 どういうわけか、英語班に入った私は、卒業まで、ひたすら文化祭の英語劇の準備に追われた。夏休み中は、小道具や、衣装制作を楽しんだ。残念なことには、ばらくするとお互いの話の中で、先生とは呼ばず、〇〇さんとか△ちゃんと呼んで背伸びしていた。 私がクラスは、理系とか、秀才タイプというより、文系タイプが多かったと思う。心酔する先生が授業の中でお勧めの本を紹介なさると、すぐ町の本屋に走った。担任は、入学間もない私達に、対等な大人に対しての言葉で話しかけて下さった。卒業まで、声を荒げることもなく、丁寧に相談にも乗って下さった。授業では、ガリ版刷りの資料を用意して、様々な地域や時代、思想や考え方や生き方があることを話して下さいました。情報量の限られていた時代、世界の広さを知る窓であった。急坂を、友と話ながら自転車を押し上げ、登り切っても、分かれ道に差し掛かって話し足りなかった帰り道。進路について、世界について、将来について、少ない知識を総動員して語り合った日々。 師、友、密やかな恋、全てがあった。 岩高での私の3年間は、決してドラマチックではなかったけれど、やはり今に続く大切な出発点である。

卒業生シリーズ 25

後輩たちに支えられた3年間



大須賀千尋 (高26回)

教師生活最後の授業お疲れ様でした。 先生は昔とても苦しんで悩んだみたいだけど、教師を続けてくれたおかげで先生に出会えたから、辞めないうでいてくれてありがとう。そして今まで数学以外にも沢山のことを教えてくれてありがとう。先生の授業めちゃ楽しかったよ。数学は好きじゃないけど、大須賀先生は大好き♡ これまでずっと頑張ってきた分、これからは奥さんと時間を大切にしたい、まったり楽しく過ごしてね。今までお疲れ様でした。 大須賀先生、本当にありがとうございます!! (ゆう)

額の汗を拭い、ふうーと安堵の胸をなでおろしました。 私は教師をずっと辞めようと思いつながら、だから50代になり、早く定年の60になりたいと思いつると続け、4年前再任用上限の65で退職した時は、これでやっと解放されるという気持ちだけでいた。ガリ版時代に教職に就いた私は、電子黒板もデジタル教科書も自由に扱えず、何よりハードもソフトもすつかり変わってしまった教育現場についていけず、孤独を感じ、もう二度と学校とは関わらないつもりでした。それが3年前、岩高よりオファーがあり、悩んだ末、引き受けました。 そんな私が常勤2年、非常勤1年を曲がりなりにも全うできたのは、間違いなく生徒たちのおかげです。 高校の評価を、英数国の偏差値というたった一つのスケールだけで測るなら、私の高校時代もさぞさん先生方から言われたように、岩高生にはも



の足りなさを感ずるでしょう。しかし、優しき、暖かさ、誠実さ、謙虚さ、表情や言葉の豊かさ...といったものを数値化できるなら、岩高は、県下屈指の偏差値の高い高校ではないでしょうか。 ところで、私の学年は今年度古稀を迎えます。これからは、妻との私生活を第一義に、子ども食堂などボランティア活動とか、独り暮らしの高齢者を援助するコミュニティサービスなどに携わろうと思っております。 終わりに、私の教師人生の最後にこんなに素晴らしい3年間を与えてくださった生徒たちに、冒頭のゆうさんの言葉を、そっくりそのままお返しします。 後輩の皆さん、本当にありがとうございます!!

同窓会、ゴルフ同好会 岩高創立100周年記念コンペを開催!

同窓会ゴルフ同好会事務局長 小林 貴幸 (高44回)

岩村田高校同窓会ゴルフ同好会の第5回ゴルフコンペを令和6年10月4日、母校の創立100周年記念大会として、望月リソルゴルフクラブにおいて開催しました。
当日は35歳から87歳まで、地元をはじめ東京や埼玉など県外からも、合計で26組、92名の参加があり、プレーを通じて世代を超えて母校に対する絆を深めました。
競技終了後にクラブハウスで行った表彰式では、わが母校の校歌や学生歌「大浅岳」

が流れる中、ゴルフ同好会の寺島義幸会長より挨拶があり、宮森武久幹事長から経過報告が、また、今回から新たに代わった土屋充俊会計より会計報告も行われました。
そして阿部誠副幹事長から成績発表があり、米寿を迎える最年長参加者の大井修さんがエイジシュートで優勝しました。
今秋、10月3日に開催予定の第6回コンペには、より多くの同窓生の皆様のご参加をお待ち申し上げます。

岩高同窓会ゴルフ同好会

第6回 ゴルフコンペのご案内

日時: 令和7年(2025年)10月3日(金)
8:00 集合 8:15 開会式 8:30 スタート

会場: 望月リソルゴルフクラブ(旧望月東急GC)
佐久市協和3597-27 電話0267-53-6006

- プレー費 7,470円(昼食付)、参加費 3,000円
- 岩高出身の方でしたら、どなたでも1名からご参加いただけます。
- ゴルフコンペ参加のお申し込み、お問い合わせは、ゴルフ同好会の事務局まで、なるべくFAXかメールをお願いします。
- ゴルフ同好会の名簿にすでに登録されている方には、8月頃に案内通知や参加申込ハガキを送らせていただきますので、今から開催日程をご予定いただき、それまでお待ち下さい。

[ゴルフ同好会事務局]

電話 0267-66-7600 (留守電可)

FAX 0267-66-7688

E-Mail kobataka394@bridge.ocn.ne.jp



祝 岩高創立100周年記念 岩高同窓会ゴルフコンペ

第16回 佐藤寅太郎賞

同窓会会則4条6「文武両道を実践し、模範となった生徒に対して卒業時に初代校長を記念し、佐藤寅太郎賞を授与する。」

令和6年度

生徒会長 片桐 楓人

副会長 松本 陽真

副会長 山田 怜奈

議長 佐藤 陽翔

副議長 岩崎 沙織

【推薦理由】

生徒会役員5名は、創立1

生徒会



生徒会長 井出 隼晟



生徒会副会長 志摩 颯

岩村田高校の副生徒会長として、仕事ができることに誇

今年度は岩高101周年という、大きな節目を迎えた後の年となります。衰えることなく、これからも新しいことに挑戦し続ける岩村田高校にしていきたいと思えます!

りを持ち、多くの経験からたくさん学び、今しかできないことを全力で楽しみなから、一生懸命頑張っていきたいと思えます。



生徒会副会長 谷津 若菜

昨年、岩村田高校は創立100周年を迎えました。101年目となる今年は新たなスタートを切り、また新しい風を岩村田高校全体に吹かせていけるよう精一杯生徒会活動に努めて行きたいと思えます。

第62回岩高祭

7月5日(土)・6日(日)



岩高祭実行委員長 新谷 凰

今年の岩高祭テーマは「疾風迅雷」です。

全校が一丸となって目標に向かい力強い姿勢で創りあげる文化祭にしたいという思いがこめられています。

昨年の文化祭に負けない素晴らしい文化祭を創れるよう全力で取り組んでいきます。

体を牽引し、参加者の心に深く刻まれる催しを創りあげてきた。式典後は、多くの参加者から絶大なる賛辞をいただいた。また、

00周年記念事業に際し、豊かな創造性をもとに様々な企画の検討を重ね、各事業の成功に対して大きな原動力となった。特に記念式典・コンサートにおいては、それまでの既成概念にとらわれず柔軟で斬新な企画構成で生徒会全

一人一人が100周年事業の貴重な経験を生かし、それぞ

れの道で社会に貢献したいと決意し、新たな道を歩んでいく。



令和6年度岩村田高等学校同窓会一般会計決算書

収入総額 4,636,623円 支出総額 4,315,509円 差引残額 321,114円
自 令和6年4月1日～至 令和7年3月31日 岩村田高等学校同窓会長 佐々木 正行

Table with 5 columns: Item, Budget, Actual, Increase/Decrease, Summary. Includes sections for Income (収入) and Expenses (支出).

監査報告 令和7年3月26日、会計監査を実施した結果、証拠書類、預金通帳等、的確に処理されていることを確認いたしました。
遠山 県一 ㊤

令和7年度岩村田高等学校同窓会一般会計予算書 (案)

収入総額 4,291,114円 支出総額 4,291,114円 差引残額 0円
自 令和7年4月1日～至 令和8年3月31日 岩村田高等学校同窓会長 佐々木 正行

Table with 5 columns: Item, Budget, Previous Budget, Increase/Decrease, Summary. Includes sections for Income (収入) and Expenses (支出).

※尚、予算に過不足が生じた場合、正副会長相談の上、一任させていただきます。

実車とバーチャル共に トップを目指す

3年5組 黒沢 和真



7歳 カート練習

私はプロのレーシングドライバーを目指し小学校の頃から実車（モーターレース）とeモータースポーツを並行して挑戦しています。幼い頃から車が好きで、3歳の頃から車のレースに夢中でした。この頃から私の夢はレーシングドライバーになることでした。父はそんな私の熱意をくみ取り、その夢を叶えるにはまず何から始めたら良いかと調べ、レーシングドライバーの登竜門であるレーシングカートを始めることにしました。実際カートに乗るとその楽しさにすぐに夢中になりました。しかし、ドライバーとしてレースで勝つて、トップになれたとしても、そこからプロドライバーになれるのはほんの一握りの人間だけです。

カートをやればやるほどプロドライバーになることの厳しさを痛感していました。

そんな時にレースゲーム「グランツーリスモ」をプレイし、大会で優秀な成績を収めると実車のプロレーサーへの道が開かれる夢のような企画があることを知りました。実際この企画を経て、プロドライバーとして活躍しているドライバーもいます。これを知り、eスポーツもプロレーシングドライバーになるための重要なステップのひとつとして考え、早速eモータースポーツも始めました。

eモータースポーツとはバーチャルな世界でのモーターレースで、車の免許を持つていなくても、車を所有していなくても家に居ながら世界中のサーキットを走ったり、世界中の人とレースで対戦することができます。私の場合、実車のレース大会の練習としても活用しています。全く走ったことのないサーキットコースを事前に家で練習することができます。

世界のトップドライバーも

実車の練習に使うほどeモーターレースはある意味最もリアルに近いeスポーツとも言えます。最近では実際のレースの再現性が向上し、実車とeスポーツのつながりが深まりつつあります。

今年から私はJAF公認のeモーターレースリーグ「ユニゾン」に熊本県の企業チームと契約して、出場しています。また実車では大手自動車メーカーのプロドライバー養成スクールに合格することができ、フォーミュラーカーのレース大会にも出場します。

私はこれからより厳しい競争の世界で、悪戦苦闘していくことでしょう。忙しくて大変なことたくさんありますが、今自分が一番好きなことをやれていることに心から感謝し、全力で突き進みたいと思います。



2025東京オートサロンでの大会の様子

令和6年度卒業生進路結果について

進路指導主事 羽田 和幸

令和6年度の卒業生の高校生活は、コロナ禍の下でスタートし、2年次には、一応はコロナの5類移行というところで普通の生活を過ごせるようになり、学校行事もこれまで通りの形で実施されることが多くなりました。そうはいってもまだ感染者もあり、またインフルエンザが流行するなど、「感染症と生きる時代」を実践する日々でありました。若さの柔軟さゆえか、そんな中でも工夫を凝らし、高校生活を充実させていたように思います。

ました。苦戦した生徒も少なくありませんがそれぞれに自分の持てる力を発揮してくれたと思います。

最終的な進路状況ですが、卒業生198名中、4年制大学進学者148名(75%)、短期大学進学者9名(5%)、専門学校進学者25名(13%)、就職者が7名(4%)、などとなっています。4年制国公立大学の合格者は32名(内進学者30名)でした。国立大学の中では岩高の進路指導上の大きなターゲットである信州大学に4名合格し、国立全体では16名の合格で、よく健闘したと言えると思います。また公立大学においては長野県立大学に3名、長野大学に5名、長野県看護大学に2名、公立諏訪東京理科大学に1名、と多くの県内大学合格者を出しました。また、群馬大学には推薦入試で5名の合格者を輩出しています。

きている感があり、青山学院大学・立命館大学の一般入試で合格者を出しています。また、一浪生たちからも吉報が届き、1年間の粘り強い努力の積み重ねが結果に見事なことがあったのだと思います。近年顕著な医療系の学部学科への進学希望は変わらず今年度も高く、経済的に不安定な時代には資格取得、手に職、といった傾向が顕著だと感じます。

3年間の地道な積み重ねと粘り強い努力、あきらめない気持ち、そして入試制度が変化する中、様々な年内入試制度(学校推薦型、総合型選抜)も活用することなどで各自の進路希望実現を果たすことができました。

入試関係では新教育課程での入試元年として、大学入学共通テストに教科「情報」が導入されるなど新たな変化があった年でした。各教科とも、前年度の問題をベースにした傾向と対策的な問題集も出揃いました。また、群馬大学には推薦入試で5名の合格者を輩出しています。

現3年生は様々な面で積極的に一步を踏み出す指導を掲げており、進路指導も同様に新しい試みも行っている学年で、どのような結果が出てくるか楽しみなところです。同窓会の皆様方にもまたさまざまな場面でのご支援をお願いすることがあるかと思っております。今後ともよろしくお願いたします。

入試関係では新教育課程での入試元年として、大学入学共通テストに教科「情報」が導入されるなど新たな変化があった年でした。各教科とも、前年度の問題をベースにした傾向と対策的な問題集も出揃いました。また、群馬大学には推薦入試で5名の合格者を輩出しています。

私立大学に目を向けると、昨年あたりからある程度、中堅以上の大学の合格が増えて

令和6年度岩村田高校班(クラブ)活動結果『運動班』

種		目	高校総体予選等(東信)	高校総体予選等(県大会)	高校総体予選等(北信越以上)
バスケット	男子		8位県大会へ	1回戦敗退	
	女子		2位	1回戦敗退	
バレーボール	男子		1回戦敗退		
	女子		5位	1回戦敗退	
剣道	男子	団体	6位		
		個人			
	女子	団体	8位		
		個人			
弓道	男子	団体	2位	予選敗退	
		個人	優勝	決勝戦(3回戦)進出	
	女子	団体	3位	ベスト8	
		個人	出場		
ソフトテニス	男子	団体	3位	ベスト16	
		個人	ベスト8	4位	
	女子	団体	ベスト8	1回戦敗退	
		個人	ベスト16(2ペア)	なし	
硬式テニス	男子	団体	3位(県大会へ)	1回戦敗退	
		シングルス	1名3位(県大会へ)	1回戦敗退	
		ダブルス	1組4位(県大会へ)	1回戦敗退	
	女子	団体	3位(県大会へ)	1回戦敗退	
		シングルス	佐々木5位(県大会へ)	1回戦敗退	
		ダブルス	佐々木・川井ペア7位(県大会へ)	1回戦敗退	
バドミントン	男子	団体	3位	1回戦敗退	
		シングルス	6名出場	なし	
		ダブルス	ベスト16(2ペア)	なし	
	女子	団体	3位	1回戦敗退	
		シングルス	ベスト8(2名)	1回戦敗退	
		ダブルス	3位	1回戦敗退	
卓球	男子	団体	5位	1回戦敗退	
		シングルス	ベスト16(2名)	1回戦敗退	
		ダブルス	ベスト12(1組)	2回戦敗退	
	女子	団体	3位	1回戦敗退	
		シングルス	3位・ベスト16(3名)	2回戦敗退	
ダブルス	3位・ベスト12	1回戦敗退			
陸上	男子		学校対抗3位県大会へ	予選敗退	
	女子		県大会へ	予選敗退	
水泳	男子		小林大吉郎 50m自由形3位 100m自由形6位 須山權 200m自由形3位		
	女子		美齊津希愛 400m自由形優勝 100mバタフライ優勝	美齊津希愛 400m自由形5位 100mバタフライ3位	美齊津希愛100mバタフライ決勝進出10位 400m自由形15位
サッカー			ベスト8	1回戦敗退	
野球			長野県高校野球選手権大会	2回戦敗退	

高校運動部の今とこれから

クラブ顧問会 運動班代表 中條 泰勝

高校の班活動は新たな局面を迎えている。コロナ禍が明け、以前のように思いきり活動できる環境が整ったものの、生徒の班活動に対する意識は多様化している。競技志向の生徒もいれば、気軽に楽しみたい生徒もいる。こうした変化に伴い、顧問

の先生方も指導の在り方を模索しながら日々奮闘している。また、中学校の部活動が地域移行する流れの中で、そもそも部活動に参加しない生徒も増えている。運動をする習慣がないまま高校へ進学し、そのまま運動班に入らないケースも多く、体力の低下や競技人口の減少が懸念されている。班活動は単なる課外活動ではなく、努力を積み重ねる経験や仲間と共に成長する機会を提供する貴重な場である。しかし、今は「何事もほ

どほど」で終わってしまう傾向が強まり、本気で打ち込めるものを見つけれないまま卒業していく生徒も少なくない。高校時代に何かに熱中し、努力を重ねた経験は、その後の人生においても大きな財産となる。目標に向かって挑戦し、成功や挫折を経験することは、人としての成長につながる。班活動の在り方は時代とともに変わるかもしれないが、生徒たちが夢中になれる環境を守り、支えていくことが大切だと考えている。

令和6年度岩村田高校班(クラブ)活動結果『文化班』

班名	活動記録
美術	令和6年度東信地区高等学校美術展18名出品 (12.22~24) 上田市立美術館 第46回長野県高等学校美術展5名出品 (1.11~13) 上田市立美術館 第38回小山敬三記念小諸公募展8名受賞 第78回佐久美術展1名受賞 第76回長野県美術展にて信州大学教育学部美術教育専攻学生と18名が交流
演劇	文化祭公演 (6.29~30) 第70回全国高等学校演劇大会岐阜大会生徒講評部門出場 (2年4組村上珠子 7.31~8.2 @不二羽島文化センター) 第41回東信地区高校演劇連盟合同発表会 (最優秀賞 9.17 @上田市文化会館) 100周年記念コンサート: 森山直子さんと共演 (10.5 @長野県立武道館) 第41回長野県高等学校演劇合同発表会 (第4位優良賞 11.10 @松代文化ホール) 佐久のハーモニー演劇祭出演 (12.8 @佐久創造館) 第60回関東高校演劇研究大会松本会場生徒講評部門出場 (2年4組村上珠子 1.25~1.26 @キッセイ文化ホール) 令和6年度東信地区高等学校演劇連盟春季合同発表会 (3.23 @上田市文化会館)
吹奏楽	第46回定期演奏会 (5.26 @佐久平交流センター) 野球班招待試合 応援 (6.2 @佐久総合運動公園野球場) 第61回岩高祭定期公演 (6.29~30 《2日開催》 @第一体育館) 長野県吹奏楽コンクールA部門 東北信地区大会 (銀賞 7.28 @ホクト文化ホール) まるごとつながるフェスタ佐久平出演 (9.14 @佐久ミレニアムパーク) 100周年記念コンサート出演: 森山直子さんと共演 (10.5 @長野県立武道館) 千曲錦酒造 秋の大感謝祭出演 (10.12 @千曲錦酒造) 佐久大学文化祭ステージ出演 (10.27 @佐久大学) 第50回長野県アンサンブルコンテスト東信地区大会 (金賞 12.8 @サントミュージゼ) 佐久のハーモニーコンサート出演 (12.10 @佐久創造館) 第50回長野県アンサンブルコンテスト長野県大会 (銀賞 1.19 @ホクト文化ホール) 新駅舎完成セレモニーで演奏 (3.9 @岩村田駅) その他各種学校行事で演奏
茶道	・毎週火曜日同窓会館にてお稽古 ・毎月二回家元教授宅にてお稽古・文化祭一般公開でお点前披露 ・中学生体験入学でお点前披露
囲碁・将棋	・5月10日 第54回長野県高等学校将棋選手権大会 (@松本市勤労者福祉センター) 男子個人B級1名出場 (3年4組 鈴木尚伸 37位) ・毎週火曜日活動
ボランティア	・校外ゴミ拾い 月1~2回 ・文化祭 展示発表、佐久コスモス福祉会のコーヒー・一口カステラ販売 ・プランター花植え・管理 7月~9月 (生徒自らの学習環境整美事業) ・その他 各種ボランティア活動参加 (佐久バルーンフェスティバル、佐久ふれあい広場、小諸花市など)
文芸	・4月 班誌「新入生歓迎号」発行 ・7月 文化祭にて班誌「文化祭号」発行 ・10月 班誌「ハロウィン号」発行 ・2月 班誌「バレンタイン号」発行
英語	毎週水曜日に旧視聴覚教室 (現大講義室) にてALTと英語での言語活動 ・Canadaの高校生との文通 ・洋画・洋楽の視聴 ・英語でゲーム ・英語でクロスワードパズル ・季節ごとのカナダの行事や祭事、文化についての話を聞く
生物	12月14日 (土) 全国高等学校総合文化祭県予選参加 ・軽井沢野鳥の森における野鳥観察 (2年4組 中島吉貴) ・外来植物による染色 (2年5組 小泉希花) ・昆虫の習性を利用した農業 (2年3組 志摩 颯、1年1組 篠原 貫汰)
書道同好会	第77回長野県書道展 銅賞受賞 (1年1組 曾我桂奈) 第13回佐久全国臨書展 佳作 (1年1組 曾我桂奈) 入選 (2年5組 小泉希花)



今年度の文化班活動を振り返って

文化部長 大工原隆生

前任の和田先生から英語班顧問を引き継いで一年が経つ。

令和6年度は岩村田高校創立100周年という事で英語班の活動場所である視聴覚室も六月から工事が始まり、現在の大講義室へと変化した。英語班の活動において英語圏の文化を直に伝えてくれるALTの存在は欠かせない。毎週ALTの来校日の放課後に旧視聴覚室で洋画・洋楽の視聴や英語のゲーム、ALTの出身国カナダの高校生との文通等を行ってきた。読解や文法、作文だけでなく英語文化の香りを直に感

じ、よりリアリティーのあるリラックスした時間は生徒にとつてやや負荷を伴いつつも快適な時間であった。工事期間中、普通教室に場所を移しはしたが新装の大講義室も機能性が高く素晴らしい出来である。

さて、文化班全体に目を移すと、演劇班の全国高等学校演劇大会出場、関東高校演劇研究大会出場といった全国やブロックレベルでの活躍や、生物班の軽井沢野鳥の森における野鳥観察といった、地域の特性に基づいた学術的な活動も見られた。また今年度は本校創立100周年でもあり、長野県立武道館での記念コンサートの吹奏楽班の演奏や演劇班の朗読等は記憶に新しい。地域との交流という点で言えば岩村田

駅新駅舎完成セレモニーでの吹奏楽班の演奏は県内ニュースで報道され、ボランティア班も佐久バルーンフェスティバル等の地域イベントでボランティア活動を行う等、地域の要請にこたえる活動も見られた。

進学校である本校は、生徒にとつては学習の負荷も大きいとは思われるが、演奏や稽古等の自分が子供の頃からやってきたこと、自分が興味を持った分野の探求等は自分への自信ややりがいや再確認し、自分を取り戻す事の出来る貴重な時間であり必要な時間である。

来年度も生徒が精神的にも健康で各クラブが更に活躍する一年になる事を願っている。

入試年別合格状況 (2025・R7年4月現在)

Table with columns: 入試年, 2025年, 2024年, 2023年. Sub-columns: 現, 既卒. Rows: 国公立大学, 私立大学, 国公立短大, 私立短大, 所管外大学校, 専門学校・各種学校.

Table with columns: 入試年, 2025年, 2024年, 2023年. Sub-columns: 現, 既卒. Rows: 獨協大学, 文教大, 神田外語大, 国際武道大, 城西国際大, 千葉工業大, 青山学院大, 慶應義塾大, 亜細亜大, 桜美林大, 北里大, 杏林大, 國學院大, 国土館大, 駒澤大, 駒沢女子大, 順天堂大, 芝浦工業大, 昭和女子大, 成蹊大, 専修大, 創価大, 大東文化大, 拓殖大, 玉川大, 中央大, 津田塾大, 東京女子大, 帝京大, 東海大, 東京家政大, 東京工科大, 東京工芸大, 東京経済大, 東京電機大, 東京農業大, 東洋大, 日本大, 日本体育大, 法政大, 武蔵野大, 武蔵野美術大, 明治大, 明治学院大, 明星大, 立教大, 麻布大, 神奈川大, 神奈川工科大, 新潟医療福祉大, 金澤工業大, 山梨学院大.

Table with columns: 入試年, 2025年, 2024年, 2023年. Sub-columns: 現, 既卒. Rows: 長野保健医療大, 清泉大, 佐久大, 松本大, 名古屋外国語大, 立命館大, 龍谷大, 関西大, 近畿大, その他.

国公立大学の合格先 (過去3年間)

Table with columns: 入試年, 2025年, 2024年, 2023年. Sub-columns: 現, 既卒. Rows: 北見工業大, 茨城大, 群馬大, 埼玉大, 東京学芸大, 新潟大, 上越教育大, 富山大, 金沢大, 信州大, 静岡大, 公立函館未来大, 釧路公立大, 群馬県立女子大, 前橋工科大, 高崎経済大, 東京都立大, 神奈川県立保健福祉大, 三条市立大, 長岡造形大, 新潟県立大, 富山県立大, 都留文化大, 山梨県立大, 長野県立大, 長野大学, 長野県看護大, 公立諏訪東京理科大, 静岡県立大.

所管外大学校

Table with columns: 入試年, 2025年, 2024年, 2023年. Sub-columns: 現, 既卒. Rows: 国立看護大学校.

主な私立大学の合格先 (過去3年間)

Table with columns: 入試年, 2025年, 2024年, 2023年. Sub-columns: 現, 既卒. Rows: 国際医療福祉大, 高崎健康福祉大, 群馬医療福祉大, 群馬パース大, 埼玉工業大.

国公立短大

Table with columns: 入試年, 2025年, 2024年, 2023年. Sub-columns: 現, 既卒. Rows: 大月短期大.

私立短大

Table with columns: 入試年, 2025年, 2024年, 2023年. Sub-columns: 現, 既卒. Rows: 新島学園短期大, 育英短期大学, 群馬医療福祉短期大, 埼玉女子短期大, 目白大学短期大学部, 新渡戸文化短期大, 上田短期大, 清泉大短期大学部, 長野短期大, 共立女子短期大, その他.

所管短期大学校

Table with columns: 入試年, 2025年, 2024年, 2023年. Sub-columns: 現, 既卒. Rows: 長野県工科短期大学校, 国立清水海上技術短期大学校.

専門学校・各種学校

Table with columns: 入試年, 2025年, 2024年, 2023年. Sub-columns: 現, 既卒. Rows: 太田医療技術専門, 獨協医科大学付属看護, 横浜医療センター付属看護, 日本工学院八王子専門, 上田情報ビジネス専門, 長野医療衛生専門, 厚生連佐久総合病院看護専門, 長野理容美容, 東京都立南多磨看護専門, 大原スポーツ公務員専門, その他.

